

答え		問題番号		ユニット	
				2	
				現代文・知識	
問四	①	(例)お聞きになる・聞きなされる			
	②	(例)申し(上げ)			
	③	(例)おり			
問三		ウ・エ			
問二		①	主観	②	帰納
問一		③	特殊	④	ア
		①	イ	②	ア
		③	ア	④	ア

答え		問題番号		ユニット		
				1		
				現代文・知識		
問四	①	手		②	鼻	
	③	目		④	足	
	⑤	肩				
問三		①	(例)どんなにへんびで不便な所でも、慣れると住み心地がよく思えてくる。			
		②	(例)権力や勢力のある者には、反抗せず従っておくほうが得である。			
		③	(例)大きいものは、小さいものかわりとして使うことができる。			
		④	(例)危険をおかさなければ、大きな成功を手にすることはできない。			
問二		①	一騎		②	意気
		③	公明			
問一		⑤	衰弱		⑥	迷惑
		⑦	撤回		⑧	想像
		③	歴然		④	綿密
		①	要旨		②	処理

1 現代文・知識

○漢字・四字熟語

問一 ①「要旨」は「文章や話のだいたいの内容」という意味。「ヨウシ」と読む語にはほかに「容姿」「用紙」などがある。⑤「衰弱」の「衰」は「衰せ」と形が似ているので注意しよう。⑦「撤回」は「取り下げること」という意味。「撤」は「取りのぞく」という意味をもち、部首は「てへん」。手にかかわるという意味から「てへん」であると考えればイメージがしやすいだろう。「徹夜」などに使われる「徹」と間違えないようにしよう。

問二 ①「一騎当千」はひとりで千人の敵を相手にできるくらい強いこと。②「意気投合」は気持ちが合つて仲よくなること。③「公明正大」は公平でやましいところがなく、正しくりつばなこと。

○ことわざ・慣用句

問三 ①「狭い部屋だが、住めば都だ」などと使う。④「虎穴」は「虎のすむ穴」、「虎子」は「虎の子ども」のこと。

問四 ①「手を焼く」で「ある人や事柄に対して、とる方法がなく苦労する」という意味。②「木で鼻をくくる」で「冷たい態度で応対する様子」を表す。④「あげ足をとる」で「人の言葉の言いそこないなどをとらえて、責めたり、からかつたりする」という意味。⑤「肩を持つ」で「味方をする」という意味。

2 現代文・知識

○抽象語

問一 ①「命題」はほかに、「解決を要する、課せられた問題」という意味でも使われる。④現在では政治的な考え方を表す場面で使われることが多く、「イデオロギイ」が対立する」などと使う。

おまえよう

③「ホシヨウ」と読む熟語には、「補償」のほ

かに、「保証」≪人物や製品について、確かだとうけあうこと≫、「保障」≪ある状態がそこなわれないように、責任をもつて守ること≫などがある。使い分けに注意しよう。

問二 ①「客観」は「考えたり感じたりするとき、個々人の考えや感覚ではなく、多くの人がそうだと認めることができること」、「主観」は「1その人個人の立場や見方に基づく考え・哲学 2外界のものとを知り、考えるはたらしき」。②「演繹」は「すでに認められている一般的な原理を当てはめて、特定の事柄を論理的に導き出すこと」、「帰納」は「一つ一つの具体的な事柄から、すべてに通じる法則などを導き出すこと」。

○敬語

問三 ウは、先生の動作なので動作主を敬う尊敬語を、エは自分の動作なので自分の動作をへりくだる謙譲語を使うのが正しい。それぞれを正しく書き直すとき、ウは「到着される・到着なさる」、エは「いただき(たい)」などとなる。

問四 ①「拝聴する」は自分の動作をへりくだつて言う謙譲語なので、先生の動作に使うのは誤り。②、③は自分や自分の身内の動作なので、話の聞き手に対して敬意を表すために、へりくだる言葉を使う。